



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名  
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 藤沢 政俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 清野 昌彦 TEL 026-285-4101  
 代行  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	169,839	15.4	1,957	6.5	2,419	13.2	1,569	14.0
29年3月期第3四半期	147,232	3.6	1,837	7.4	2,137	4.4	1,376	7.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,787百万円 (6.3%) 29年3月期第3四半期 1,680百万円 (18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	68.15	—
29年3月期第3四半期	59.75	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	68,981	21,891	31.2
29年3月期	43,798	20,437	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 21,507百万円 29年3月期 20,075百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	11.00	14.00
30年3月期	—	3.00	—		
30年3月期(予想)				11.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	16.5	1,970	20.5	2,400	19.4	1,200	0.6	52.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	23,121,000株	29年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	92,085株	29年3月期	102,139株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	23,025,601株	29年3月期3Q	23,040,528株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果による雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直し傾向が見られるなど景気は緩やかに回復しているものの、海外経済の不確実性や地政学的リスクの高まりなど依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、天候不順等に起因する仕入価格の上昇や消費者の根強い節約志向・低価格志向、人手不足を背景とする人件費の増加が継続するなど、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況下、当社グループは今年度を初年度とする中期経営計画「変革2019～日本の中のマルイチを目指して～」で掲げた戦略課題の具現化を進めております。具体的には、当社グループの原料調達力と製造・加工機能、地域に密着した卸売機能を活かしたメーカー型卸事業の推進や、経営基盤の再整備に向けた業務改革に全社グループを挙げて取り組んでおります。

平成29年4月3日付で子会社化した㈱丸水長野県水につきましては、経営の自主性・独自性を維持しつつ、グループ内で経営資源を共有することでシナジーの創出を図りながら持続的成長に向けた取り組みを進めております。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,698億39百万円（前年同期比15.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益19億57百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益24億19百万円（同13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億69百万円（同14.0%増）となりました。

#### [セグメント別の概況]

平成29年4月3日付で㈱丸水長野県水の株式を取得して子会社化したことに伴い、新たに連結の範囲に含めております。これにより「丸水長野県水グループ」を新たな報告セグメントとして設定しております。同セグメントは、丸水長野県水グループ（㈱丸水長野県水及びその子会社）のうち食品事業（平成29年10月1日付で当社食品事業に統合。食品事業は一般食品事業セグメントに含みます。）を除く事業にて構成しております。

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

成長戦略の柱でありますメーカー型卸事業を各部門で推進しており、水産部門では産地と連携した商品調達力の強化や養殖魚事業の推進、デイリー部門では洋菓子・和菓子などのオリジナル商品の開発と拡充、フードサービス事業部では当社グループの機能を活かした商品開発を進めました。しかしながら、天然魚の水揚げ量減少や輸入水産物高騰の影響により、売上高につきましては987億59百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

利益面につきましては、受注・発注業務や物流業務の改善に継続して取り組みましたが、水産物の仕入価格上昇の影響等により、営業利益は9億75百万円（同8.9%減）となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

長野県外における新たな物流拠点を7月に山梨県、10月に群馬県で稼働を開始し、より地域に密着した顧客対応による事業エリアの拡大を進めました。加えて、㈱丸水長野県水の食品事業を平成29年10月1日付で統合した効果もあり、売上高につきましては227億67百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

利益面につきましては、受発注機能の集約によるコスト削減に取り組む一方で、県外物流拠点の新設に伴う販管費の増加等もあり、営業利益は1億5百万円（同27.8%減）となりました。

#### <畜産事業セグメント>

産地やメーカーとの戦略的な取り組みによる商品供給基盤を活かした既存マーケットの深耕化と首都圏エリアへの販路拡大を図ることで事業規模の拡大を進めました。しかしながら、上半期における国産牛肉・豚肉の高値相場に伴う需要の減少で売上が伸び悩んだ影響が残り、売上高につきましては241億96百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

利益面につきましては、コスト低減に向けた業務改善に継続して取り組んだものの、国産畜肉の相場高の影響等により、営業利益は4億76百万円（同1.0%減）となりました。

#### <丸水長野県水グループセグメント>

丸水長野県水グループは経営の自主性・独自性を維持しつつ当社グループ内で経営資源を共有することでシナジーを創出し、顧客ニーズに対応しながら機能の強化と最適化を図るなど、持続的成長に向けた取り組みを進めております。

以上の結果、売上高は230億72百万円、営業利益は3億20百万円となりました。

<その他(物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業)>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築をグループ内の各事業と連携しながら推進いたしました。

なお、小売店の店舗支援を事業とする子会社A E S(株)は平成29年3月31日に解散しており、連結の範囲から除外しております。

以上の結果、売上高は10億44百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は79百万円(同42.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は689億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して251億82百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が39億6百万円、受取手形及び売掛金が160億26百万円、商品及び製品が18億27百万円増加したことによります。

負債は470億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して237億28百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が207億51百万円増加したことによります。

純資産合計は218億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億54百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.8%から31.2%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において今後の景況や商品相場の動向等が不透明であることから、平成29年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,205	11,112
受取手形及び売掛金	14,435	30,462
商品及び製品	3,865	5,692
仕掛品	6	8
原材料及び貯蔵品	128	178
その他	2,626	3,071
貸倒引当金	△61	△83
流動資産合計	28,206	50,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,041	3,401
土地	7,846	8,592
その他(純額)	711	1,250
有形固定資産合計	11,599	13,244
無形固定資産		
のれん	—	372
その他	138	137
無形固定資産合計	138	509
投資その他の資産		
投資有価証券	2,565	3,133
退職給付に係る資産	—	297
その他	1,485	1,574
貸倒引当金	△196	△219
投資その他の資産合計	3,854	4,784
固定資産合計	15,592	18,539
資産合計	43,798	68,981
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,136	36,888
短期借入金	1,500	1,618
1年内返済予定の長期借入金	—	286
未払法人税等	439	302
賞与引当金	573	331
その他	2,662	3,916
流動負債合計	21,312	43,344
固定負債		
長期借入金	—	1,483
役員株式給付引当金	25	32
債務保証損失引当金	73	73
退職給付に係る負債	734	689
資産除去債務	85	87
その他	1,129	1,378
固定負債合計	2,048	3,745
負債合計	23,361	47,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,385	3,385
利益剰余金	12,549	13,795
自己株式	△92	△83
株主資本合計	19,562	20,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	616	783
退職給付に係る調整累計額	△103	△93
その他の包括利益累計額合計	512	690
非支配株主持分	361	384
純資産合計	20,437	21,891
負債純資産合計	43,798	68,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	147,232	169,839
売上原価	132,941	152,012
売上総利益	14,290	17,826
販売費及び一般管理費	12,453	15,869
営業利益	1,837	1,957
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	74	76
受取賃貸料	146	253
その他	107	183
営業外収益合計	330	514
営業外費用		
支払利息	10	19
固定資産除却損	0	7
貸倒引当金繰入額	9	—
製品補償損失	—	14
その他	10	12
営業外費用合計	30	53
経常利益	2,137	2,419
特別利益		
賠償金収入	35	—
特別利益合計	35	—
税金等調整前四半期純利益	2,173	2,419
法人税、住民税及び事業税	639	669
法人税等調整額	106	139
法人税等合計	746	809
四半期純利益	1,427	1,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,376	1,569



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,427	1,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	240	166
退職給付に係る調整額	13	10
その他の包括利益合計	253	177
四半期包括利益	1,680	1,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,629	1,746
非支配株主に係る四半期包括利益	50	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、A E S(株)は平成29年3月31日の解散に伴い、連結の範囲から除外しております。また、(株)丸水長野県水の株式を取得したことにより、同社及びその子会社であるマルゼンフーズ(株)、アスコット(株)、(株)エム・フーズ、(株)丸水運送センターを連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,179	20,726	24,288	146,193	1,038	147,232	—	147,232
セグメント間の内部 売上高又は振替高	547	25	469	1,042	2,954	3,996	△3,996	—
計	101,726	20,751	24,757	147,236	3,993	151,229	△3,996	147,232
セグメント利益	1,071	146	481	1,699	138	1,837	—	1,837

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援事業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
外部顧客への売上高	98,759	22,767	24,196	23,072	168,795	1,044	169,839	—	169,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,298	159	1,119	140	2,717	2,810	5,528	△5,528	—
計	100,057	22,926	25,316	23,212	171,512	3,855	175,368	△5,528	169,839
セグメント利益	975	105	476	320	1,878	79	1,957	—	1,957

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。
2. セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、(株)丸水長野県水の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、「丸水長野県水グループ」を新たな報告セグメントとして新設しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、マルイチ産商グループ(株)マルイチ産商と(株)丸水長野県水グループを除く子会社、及び(株)丸水長野県水の食品事業)と丸水長野県水グループ(食品事業を除く(株)丸水長野県水及びその子会社)で構成され、マルイチ産商グループは、商品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う商

品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。丸水長野県水グループは、現在の経営環境の継続を前提に、独立した経営単位として事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部を基礎とした商品・サービス別のセグメントである「水産事業」、「一般食品事業」及び「畜産事業」と、事業会社別セグメントである「丸水長野県水グループ」の4つを報告セグメントとしております。

「水産事業」は、水産物、水産加工品、日配品及び冷凍食品の販売と、水産加工品の製造を行っております。「一般食品事業」は、一般のドライ食品、一般加工食品及び菓子の販売を行っております。「畜産事業」は、畜産物及び畜産加工品の製造・販売を行っております。「丸水長野県水グループ」は長野県内エリアを中心に、食品卸売業を展開しております。

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの売上高をより実態に近づけるため、セグメント間の内部売上高又は振替高の集計方法を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。

### 3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(株)丸水長野県水の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたため、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「丸水長野県水グループ」において8,238百万円増加しております。